



TOP > グルメ > カフェ、スイーツ、パン > 里親募集型猫カフェ"しらすぎカフェ"に行ってみた！！

シェア

ツイート



里親募集型猫カフェ"しらすぎカフェ"に行ってみた！！

2022.01.18 UP 西武新宿線沿線西エリア 投稿者：区民レポーターまなみ

[観光スポット] [区民レポーター]

こんにちは！区民レポーターのまなみです。

27,108

早速ですが、この数字がなんの数字かわかりますか？？実は、これは1年間で殺処分された猫の数です。（2019年度 犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況—環境省）年々減少傾向にあるとはいえ、多くの命を人間の事情で奪ってしまっていることを重く受け止めなければなりません。

さて、少し暗い話からスタートしてしまいましたが、そんな猫たちを少しでも多く救おうと、さまざまな活動を行うボランティア団体が努力されています。今回は、しらすぎ動物病院の副院長であり、中野区白鷺で里親募集型猫カフェを運営されている常安さんにお話をお伺いしました。

猫と暮らす空間

西武新宿線「鷺ノ宮駅」から歩くこと7分。目的地「しらすぎカフェ」に到着です。中に入ると早速、看板猫のあなごちゃんが迎えてくれました。



看板猫のあなごちゃん

店内は猫の絵や置物が飾られていたり、猫に関する本が置いてあったり、まさに猫尽くしの空間です。しかし、しらすぎカフェが一風変わっているのが、中央に置かれたダイニングテーブル。多くの猫カフェでは、床に直接座って猫とのふれあいを楽しむことが多いですが、しらすぎカフェでは一般家庭のように椅子と机が置いてあります。これには「猫との暮らしをイメージしやすいように」という思いが込められているそう。里親募集型猫カフェらしさが垣間見えるこだわりでした。



店内はまさに猫尽くしの装飾



里親募集型猫カフェ

しらすぎカフェで会える猫たちは、人間の事情で保健所に預けられたり、交通事故でケガをしてしまったところを保護されたりした「飼い主がない」猫たちです。

そんな猫たちが新しい家族に出会えるようサポートしているのが、しらすぎカフェです。



生後6週間の子猫たち。元気いっぱいです。

常安さんは小学生の頃から保護猫活動をされていたそうで、獣医師となられた当時のご自身の動物病院で猫の里親募集の活動に取り組みられました。そして9年前、より多くの人と猫をつなぐ場所を作りたいという思いから、動物病院に併設する形でこちらのカフェをオープンされました。

里親募集型ということもあり、里親希望の方も多いそうですが、カフェの利用はもちろん老若男女誰でもOK！！気軽にかわいい猫たちに癒されに来て欲しいとおっしゃっていました。



ドリンクメニュー

「いのち」を扱うということ

今回お話を伺った中で、印象的だったのが日本のペット事情です。

まちで見かける多くのペットショップでは、純血種と呼ばれる猫や犬たちが販売されています。それは、日本で純血種の子犬、子猫の人気の高いためです。大きくなってしまった犬猫や雑種の犬猫は人気がありません。純血種の子犬子猫は高値で売買される一方、遺伝や近親交配によって生まれつきの病気を抱えてしまったり、大きくなってしまって買い手が見つからなかったりという事例が相次いでいます。さらには、病気で返されたり、売れ残ってしまった犬猫を「保護動物」として販売するケースもあるそうです。

もちろん知識を持ち、愛情を注いで繁殖に取り組むペットショップやブリーダーさんもいます。しかし、いのちを徹底的に商売道具として扱うことに疑問を感じますし、こういった問題が身近に潜んでいるという事実から目を背けてはならないと強く思いました。



最後に常安さんは、ペットショップで動物を飼う前に、里親を募集している犬猫にもぜひ目を向けてほしいとおっしゃっていました。しらすぎカフェでは、カフェで猫と触れ合うだけでなく、家族に迎え入れる前に猫との暮らしを体験するトライアルも実施しているそうです。

猫との暮らしに興味がある方、猫に癒されたい方、“しらすぎカフェ”へぜひお立ち寄りください！！

公式サイトは[コチラ](#)

公式ブログは[コチラ](#)





※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご迷惑をおかけすることをご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。